

スクラップ&ビルドの徹底及び新規施策の実現

【現状】

現時点の中期財政見通しによれば、15年度県予算は2年連続のマイナス予算となるのは確実。また、**310億円程度の財源不足が発生**。

	13年度	14年度	15年度見込み
当初予算額	8,762億円	8,347億円	7,000億円台
伸び率	0.4%	4.7%	概ね 6%台

15年度国予算概算要求基準によれば、一般歳出は実質的に14年度水準以下
裁量的経費 2%削減

【課題】

約310億円の財源不足に対しては、既に見込み得る最大限の歳入を計上していることから、歳出において「削減目標」を設定し、**厳格に実施**。

< 歳出削減の方針 >

一般行政経費 聖域を設けず、対前年度比に一定の削減率を設定

(但し、一律削減ではなく、重点増減方式により事業を精査)

投資的経費 県税収入等の伸び率連動方式を採用

義務的経費 原則、所要額を計上

21世紀の新しい政策課題に対し積極的に対応し、県民福祉の一層の向上を目指すため、各分野の新規・重要施策の実現が必要。このため、所要の財源を既存事業の更なる見直しから捻出し、確保するため、スクラップ&ビルドを徹底。

既存事業の見直しに当たっては、「施策評価」、「公共事業評価」など各種行政評価システムを活用し、事業の有効性・必要性について、ゼロベースで検証。さらに、各種行政評価システムを総合的に運用する「総合的行政評価システム」により、各種施策への県民満足度を向上。